

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ぱんてい			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日 ~ 2025年 1月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日 ~ 2025年 1月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> こどもの障害特性や日々の状況に応じて5つの部屋を使い分けている。 場所や活動内容を絵や文字等で掲示する等の視覚的な支援と個別スケジュールの提示を積極的に取り入れ、こどもが独力でわかりやすい環境づくりに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援者が変わっても不安定にならないように、支援内容やツールの標準化を進める。
2	将来、こどもが社会の一員として自立した生活を送れるよう、卒業後の生活を見据えた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中で生活する体験を重ねるために、周辺店舗での個人の買い物や公共施設の利用、歩行などを実施している。 作業所などで必要となる基礎的な能力を身につけるために、手指を使った作業練習を一定時間実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの特性等に応じた専門性のある支援を「専門的支援」として実施する。
3	こどもが、家庭でも安心して過ごせるように保護者と情報を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> 居宅を使用している施設ということもあり、家庭でも取り入れやすい視覚支援等の環境整備を提案している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所での支援内容をご家庭にフィードバックして参考にさせていただくとともに、ご自宅に訪問して一緒になって環境整備を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	身体に障害のあることによっては、移動や活動スペースが制限される。	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅を使用している施設ということもあり、段差を無くすなどのできる改修はしているが、完全なバリアフリー化や車椅子の利用は難しい。 ・障害者用トイレの設置が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の拡張は難しいので、家具の配置や動線を工夫し、より快適な環境を提供する。 ・屋外活動の機会を増やす。
2	重度以上の知的障害を有することも多く利用されており、支援内容や支援ツールの標準化が進まない。	<ul style="list-style-type: none"> ・多数の支援者を配置できていた時期は、オーダーメイド支援の弊害が表面化していなかった。 ・将来を見据えた時には、オーダーメイド支援とはいえども標準化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階や興味関心に合わせた小グループ活動の時間を増やす。 ・支援内容や支援ツールの標準化や共通化を進める。
3	社会に出てからの役に立つ力が身についているのか、具体的な評価ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校卒業後の生活や福祉制度についての理解が不十分 ・当市にある成人支援施設の実態についての理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人以降の生活や福祉制度についての社内研修を行う。 ・成人支援施設を訪問し、実際の施設運営や利用者の様子を現認して理解を深める。